

## 第 2 学年英語科学習案内

目標 実践的コミュニケーション能力（話す、聞く、書く、読む）の基礎を身につける

1. 観点別評価 以下の観点で A,B,C で評価し、それをもとに 5 段階で評定します。

	①コミュニケーションへの 意欲・関心・態度	②表現の能力	③理解の能力	④言語・文化の知識・理解
評価 する 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に英語を使って自分の考えを相手に伝え、相手の考えを理解しようとする。</li> <li>・AET や JTE と積極的に、会話をしようとする。</li> <li>・学習内容をノートに工夫してまとめる。</li> <li>・望ましい学習態度で授業に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した表現を用いて、自分の考えなどを話すことができる。</li> <li>・学習した表現を用いて、自分の考えを書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を聞いて、相手の意向を理解することができる。</li> <li>・英語を読んで、書き手の意向を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や自国の文化や生活についての理解を深めることができる。</li> <li>・文法事項について理解できる。</li> <li>・単語や熟語の用法を理解できる。</li> </ul>
評価 の 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・挙手・発言</li> <li>・提出物(ノート・ワークなど)</li> <li>・忘れ物 ※提出期限は厳守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・スピーチ/英作文</li> <li>・会話テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>

### 2. 学習内容

① Meet Your New Classmates.

新しいクラスで、自己紹介や級友の紹介することができる  
簡単な Classroom English を聞いて指示に従うことができる。

② Program1 Did You Enjoy Your Vacation?

過去に起きた出来事について不規則動詞を使って対話ができる。

Be 動詞の過去形を使って人やものの様子を描写したり対話することができる。

過去進行形の表現を用いて自他の行動を表現できる。

I went to Kyoto with my friends. / I was busy with my homework? / She was playing tennis with my friends.

③ Program2 A Trip to Finland

未来のことや予定についての情報を伝えることができる。

未来の助動詞を使って考えや意思を伝えることができる。

I am going to play soccer with my friends.. / I will answer it. / Will it be sunny?

④ Program3 What Can We Do for Others?

しなければならないことを伝えることができる。

必要か、不必要かの考えを伝えることができる。

You must wait for dinner. / Do we have to buy a cake for her? / I think (that) that's too early for me.

⑤ Program4 Eigo Rakugo

まとまりのある英文を読んで、内容を理解することができる。

May I help you? / Why not? / all right / point of view

⑥ Program5 Gulliver's Travels!

ものの存在を描写することができる。

時や条件を示す節の用法を理解し、運用することができる。

There is ~. / When you called me, I was ~. / If it's sunny, I'll go cycling with my brother.

⑦ Program6 A Work Experience Program

不定詞の 3 つの用法を使った英文を理解できる。

I want to be a ~. / I went to Tokyo to see my aunt. / I want something to drink.

- ⑧ Program7 If You Wish to See a Change  
動名詞の用法や、SVC, SVCO の文型を正しく身につけ、運用する。  
I enjoy playing tennis. / SV(=look / become)C / I'll give you a present tomorrow.
- ⑨ Program8 Friendship across Time and Borders  
まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。  
on the way home / because of / tkeep up
- ⑩ Program9 A Video Project.  
比較級、最上級、同等比較の英文の構造を理解し、身近なものを表現できる。  
older than ~. larger than~. the longest ~. as big as ~.
- ⑪ Program10 So Many Countries, So Many Customs.  
長い形容詞や副詞を使った、比較級、最上級、同等比較の英文の構造を理解し、身近なものを表現できる。  
more difficult than ~ / the most difficult ~ / better than ~ / the best of all
- ⑫ Program11 Yui-To Share is to live  
受身の文を正しく身につけ、運用する。  
They are made in Hokkaido. / It was written by my grandfather.
- ⑬ Program12 Her Dream Come True  
まとまりのある文章を読んで内容を理解する。  
come true / Would you~?

### 3.評価基準と観点別評価の対応関係

- A : 85%以上達成(十分満足できると判断されるもの)  
B : 50~84%達成(ほぼ満足できると判断されるもの)  
C : 49%以下達成(努力を要すると判断されるもの)

#### **授業を受けるポイント**

##### ア) 積極的に発言しよう

習っている途中なのでミスは当たり前。むしろミスをするから覚えられるのだという気持ちで積極的に取り組みましょう。また、授業中に英語を積極的に使って反応するようにしましょう。

##### イ) 大きな声で練習しよう

口をしっかりと開いて大きな声で発音したり読んだりすることで自然に英語の発音やイントネーションが身に付きます。

##### ウ) しっかり聞こう

英語では聞く力が大切です。しっかり集中して先生やCDの英語を聞きましょう。

##### エ) ノートをしっかりとろう

復習の時にノートを見て思い出せるように工夫して書きましょう。単語調べや本文の予習は必ず自分でやりましょう。

##### オ) 習うより慣れろ

英語の学習では反復練習がもっとも大切です。理屈で理解しなければならないこともたくさんありますが、まずは「口から自然に英語がでてくる」、あるいは「見ないですらすら書ける」というレベルになるまで繰り返し家庭でも練習しましょう。